

パブリックコメント（意見公募）の実施結果について

- ・案件名 伊東市新保健福祉施設整備基本構想（案）
- ・実施期間 平成26年3月28日(金)～平成26年4月28日(月)
- ・担当課 高齢者福祉課
- ・意見提出数 6人1団体・15件（延べ数）

頂いたご意見の内容と市の考え方

受付番号	頁	意見内容	市の考え方
1	9	<p>今回、伊東市保健福祉センターの立替を予定しているようですが、伊東市の場合、例えば観光・保養先の奥野ダム、丸山公園、汐吹き公園、伊東公園は公共交通機関が通っておらず、文化施設の観光会館、別館、ひぐらし会館、図書館、そして、計画されている福祉センターなどは、対島地区や吉田、川奈、玖須美地区から公共交通機関で行くには乗り換えとなり不便な場所ばかりです。</p> <p>地形的な制約から仕方ないとは思いますが、市内周遊バス等、何か良い知恵はないのでしょうか。</p>	<p>一部地域の皆様には、公共交通機関の乗り換え等、ご不便をおかけいたしております。</p> <p>多くの皆様にご利用いただけるよう、アクセスの利便性にも配慮しながら、新施設を整備してまいります。</p>

2		<p>【着地型・滞在型観光を推進する について】</p> <p>千年の歴史を持つ「伊勢参り」のお客様接待法、「おもてなしの精神」を学ぼう。見知らない他人全てを、お客様として遇する精神であり、訪れる人は安心安全な安らぎを感じる。ゆったりとしたゆとり有る生活が醸し出す雰囲気を支えられている。健康な高齢者がゆとり有る生活をする景色が必要であり、母親と子どもの元気な声の後押しする。3世代健康交流の場づくりの構想そのものが、要求されます。このハードルを越えて、この地区は伊東市に於けるユートピア（理想境）となるでしょう。</p>	<p>健康づくり、高齢者福祉・介護予防拠点、子育て支援等の機能を通じて、多世代、市民間の交流を促進し、元気なコミュニティづくり活動の中心的な役割を果たす施設整備を目指してまいります。</p>
3	4	<p>【高齢者の健康づくりについて】</p> <p>新保健福祉施設の入浴を中心として、1万歩ウォーキングコースの休息所を含めた面的な（健康増進を目的とした）安心安全な散歩公園の整備。</p> <p>松川遊歩道を整備拡大する（例、七福神湯めぐりコース、歌碑文学コース、日蓮コース、源頼朝コース、曾我兄弟コース、伊東祐親コースや天狗の詫びじょうもんコース）伊東公園・松月院・なぎさ公園・松川館・東海館・李太郎記念館・藤の広場・仏現寺・最誓寺・東林寺・物見ヶ丘公園・音無神社・稚児ヶ淵・謎の「北の小御所」等 自転車を使用するサイクリングコースも同様に考えたいです。</p>	<p>ウォーキングやサイクリング等の健康づくりを行う中での休憩施設として積極的に活用していただけるよう、新施設には入浴施設や休憩スペース等も整備してまいります。</p>
4	8	<p>【防災・川西地区の司令塔について】</p> <p>西小学校（広域避難場所）および消防署とタイアップできる避難所として、被災時には川西地区の行政出張所として司令塔の機能を備え、川西地区の防災関係者を指揮下に置ける様にしてほしい。</p>	<p>災害時には、広域避難所や消防署等と連携をとりながら、福祉避難所や災害ボランティアの活動スペース、医療救護所等の設置が可能な防災拠点機能を有する施設として整備をしてまいります。</p>

5	8	<p>【防災・津波対策について】</p> <p>津波避難タワーとして、海拔15メートル以上の近隣住民の避難場所にしたい。魚重前交差点の海拔は7.7メートルですから、津波避難場所として対応できる新施設としてください。</p>	<p>建設予定地は津波の想定浸水域には入っておりませんが、自然災害等発生時の避難所としての機能を確保するため、避難生活に必要な資機材や医薬材料等の備蓄を行い、災害ボランティアの活動スペースや医療救護所等の設置が可能な防災拠点機能を有する施設として整備をしております。</p>
6	5	<p>【デイサービスの場について】</p> <p>高齢化により家庭内老老介護が加速度的に増加する社会で、デイサービスとして切実に要望されるものは、入浴と医師による検診です。この二つのものをつけて同時に供給するサービスを、健常者／車いす／寝たきりの3コースで設定する事を希望します。</p> <p>検診医師の常駐と3段階の浴槽を必要とします。通常の浴槽、天つり椅子つき浴槽、ストレッチャー用浴槽です。ストレッチャー用浴槽は1回ごとに湯を交換しますので相当量の湯を必要とします。このサービスを提供する事による効果は、着地型・滞在型観光を推進する上で絶大なものとなることを確信します。伊東市の中心地区に伊東市の意気込みを示す、フラッグシップを建ててください。</p>	<p>要介護の認定を受けた方につきましては、介護保険制度において実施される入浴サービスを利用することが可能であることから、新施設におけるデイサービスは、要介護状態でない高齢者を対象とした予防的な生きがいデイサービスを想定しております。</p> <p>また、医師の常駐は人材確保等の面から非常に困難であると考えます。</p>
7	3	<p>展開事業の例 市民団体・NPO交流会 NPOとはこういった団体を想定していますか？</p>	<p>さまざまな世代、団体の皆様の幅広い交流を考えておりますことから、特定の団体等は想定しておりません。</p>
8	7	<p>2-4交流プラザ機能 (2)市民活動交流促進の場の市民団体の想定、市民活動支援スペースは市民団体、地域のサークル、ボランティア団体の支援のための講演会や会議・研修会などが開催できる場＝ハード機能を想定していますか？</p>	<p>他機能と共用した多目的ホールや会議室等を使用することにより、講演会や会議、研修会等が開催可能なスペースを想定しております。</p>

9	9 ～ 10	P9建設地 P10建設方針(5) 災害時の拠点施設となるべき施設として立地が適切とは考えにくいのですが、津波対策などはどのように考えていらっしゃるのでしょうか？自然災害時の対応にも配慮とはどういうことを指しているのですか？	建設予定地は津波の想定浸水域には入っておりませんが、自然災害等発生時の避難所としての機能を確保するため、避難生活に必要な資機材や医薬材料等の備蓄を行い、災害ボランティアの活動スペースや医療救護所等の設置が可能な防災拠点機能を有する施設として整備をしております。
10	5	(1) 生きがい交流の場 隣接するシニアプラザとの関係をどう考えるのか。この部分については充実が望ましいが、シニアプラザも現状どおり活用するなら、それを考えた上での設計にすべきだと思う。(基本的に高齢者の集える場は全市に必要。車で来ることができる高齢者は活動の場は他にも沢山ある。)周辺へのそうした場を広げる構想と共に考えるべき。	シニアプラザ桜木の持つ介護予防拠点施設としての機能を更に充実させた上で、同一敷地内に建設する予定の新施設に取り込むこととしておりますことから、シニアプラザ桜木の取り扱いにつきましては、今後、新施設の建設位置等を決定する過程で合わせて検討してまいります。
11	7	(2) 市民活動交流促進の場 パルとのからみはどうか。現在の「パル」の事務所をこの施設に移転する構想はないのか。この施設に集中させてもいいのではないかと。	市民活動交流促進の場として、さまざまな世代、団体の皆様の幅広い交流を考えておりますことから、現在のところ、特定の団体等は想定しておりません。
12	10	3-2 駐車スペースは充分とって欲しいが、立体駐車場にして有料にすることは避けて欲しい。	建設予定地は、現在、ひぐらし会館、生涯学習センター中央会館及びシニアプラザ桜木との共用駐車場となっており、利用者の利便性を考慮し、限られた敷地内でできる限り多くの駐車スペースを確保する必要から、立体構造の駐車場を想定しております。 また、駐車場使用料については未定でございますが、新施設及び近隣の公共施設利用者の利便性を考慮し、利用者以外の使用の対策を講じる必要があると考えております。

1 3	4	<p>健康課の水中ウォーキングに参加し、とても体調が良かったので、ヒザや腰に負担がかからない水中ウォーキングを一年を通じてできるような施設があると、中高年の足腰に不安がある者にとってはとても助かります。</p> <p>民間のスポーツクラブやプールでは、料金がなくて二の足を踏んでしまい、リハビリ施設のある病院では、そこに通院している人しか使用できないので、健康になりたい、病院に通うほどひどくしたくない人達が安価で利用できるプールを是非作っていただきたいと思います。</p> <p>幼児から高齢者まで総合的に利用可能な温水プールを作っただけだと、「健康保養都市いとう」をかかっている伊東市を広くアピールする事にもつながり、募集の趣旨である3世代健康交流の場、健康づくり、介護予防・生きがい拠点、子育て支援、市民活動の拠点としてなど、多くの市民が利用できる施設として喜んでもらえるものとなるのではないかと強く希望しております。是非お願い申し上げます。</p>	<p>膝や腰に負担のかからない水中ウォーキングの効果につきましては理解をしておりますが、建設を予定しております敷地の規模や建設後の維持管理等の点から、新施設の構想に温水プールを盛り込むことは難しいと考えます。</p>
1 4	4	<p>かかりつけの医師から運動不足を指摘され、ウォーキングを始めたが、ヒザに負担がかかって痛むようになってしまった。水中歩行が良いという話を聞いたが、民間のものは営業時間や料金の面で通いづらいこともあって、是非とも公共の機関で温水プールを作って市民（特に高齢者）に開放してもらいたい。</p>	<p>膝や腰に負担のかからない水中ウォーキングの効果につきましては理解をしておりますが、建設を予定しております敷地の規模や建設後の維持管理等の点から、新施設の構想に温水プールを盛り込むことは難しいと考えます。</p>
1 5	4	<p>子供、高齢者も利用出来るプール</p>	<p>建設を予定しております敷地の規模や建設後の維持管理等の点から、新施設の構想にプールを盛り込むことは難しいと考えます。</p>